

大阪府退教情報

2024年8月6日

発行第65号

発行者:大阪府退職教職員連絡協議会

会長:青柳 隆

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11

大阪教組気付

電話 06-6762-7999

単会学習交流会報告2

テーマ「今日の教育課題と働き方改革」

酒谷秀樹大阪教組副委員長が講演



詳細な資料をもとにした
報告に耳を傾ける

7月26日単会学習交流会の一部では大阪教組副委員長の酒谷秀樹さんが「今日の教育課題と働き方改革」をテーマに、現状を報告した。

<教職員をとりまく現状について>

職場の年齢構成は20~40歳代が多く、中堅層に負担がかかる。日教組の加入率は23年度19%。時間外在校時間の上限ラインが月45時間、年360時間だが文部省調査では小中高とも45時間を大きく上回り過労死ラインの80時間を超えている。23年の府教委調査では中学校で年556時間と大幅に上回っている。長時間労働による病欠者も増加。24年5月に中教審特別部会が「審議のまとめ」を出したが、全く不十分で、抜本的な業務削減・教職員定数改善と給特法の廃止・抜本の見直しが必要。

<不登校課題>

不登校がすべての校種で増加している。特に府立高校では全国平均を大きく上回っている。また不登校となる時期が低年齢化し、かつ一度不登校となると継続する傾向がある。とりくみとして不登校につながる要因を摘みSCやSSWな等の専門スタッフ等との連携を深める、また学びを保障するために教室以外の居場所などの環境整備をする。今年度もさらに府立学校の多様化が進んでいる。

<交渉の考え方と取り組みの概要>

教職員の勤務労働条件に関しては府労連闘争、教育長交渉、専門部交渉で改善を求めている。人権課題、教育内容等については、部落解放共闘教育部会で交渉している。特に勤務労働条件に関しては、教職員定数の確保や長時間労働の是正等を求めて、今年7月9日にも教育長交渉に取り組んだ。人権課題や教育内容等については昨年11月の解放共闘と大阪府・府教育庁との基本要請交渉、同和教育はじめ課題別の交渉に取り組んだ。

<今後の重点的取り組み>

組織拡大のために未組合員への加入促進、また分会会議ができる条件づくりが喫緊の課題。教職員の処遇改善、勤務時間内に業務を終わらせるように業務・持ち時間の削減。担任手当は分会に分断をもちこむもので、全体の処遇アップが大事。教職員の声を国会に届けるためにも日政連議員への働きかけと支援が必要。

講演後、質疑応答があり意見交流した後、これから子どもたちのため現職・退職者が力を合わせて、持続可能な社会を目指してがんばることを決意し会を終えた。(文責 太田陽子 写真 森山庸浩)

和やかに にこやかに 懇親会



河内ブロック



尾辻かな子さん



北河内ブロック

第1部2部の学習会を終えて部屋移動した後、青柳会長の挨拶から懇親会が始まりました。来賓挨拶では立憲大阪府連幹事長の野村いくよさんから女性の声で政治を変えると街宣行動をしていること、子ども主体の教育を進めることが大切、解散総選挙があるかも・・・などお話をされました。衆議院選挙立候補予定の尾辻かなさんは、公立高校の半分が定員割れになったこと、万博無料招待の不安な状況などの現状をお話されました。最後に大阪教組委員長百済善之さんのお話の後、乾杯の掛け声で冷たいビールやウーロン茶で喉を潤し「美味し〜い」の声が聞こえました。

しばらくの間、食事を楽しみながらテーブルごとのお喋りも盛り上がりました。そして、豊中の佐渡栄子さんの指揮のもと「青春時代」をみんなで歌い更に盛り上がりました。

その後、ブロック紹介で高校・泉州・河内・大阪市・北河内・三島・豊能の順番で名前、役職の紹介やブロックの様子など譲り合いながら和やかな笑顔でお話してくださいました。特に三島ブロックは、昨年度から始めた「郷土発見ツアー」の担当になっていただき、その紹介がありました。今年度は、「水上隣保館・遥学園見学」「大山崎山荘美術館」ツアーの予定です。今後、単会代表者会議で詳しい提案があるので楽しみにしてください。役員紹介後も、あちこちで交流が広がり懐かしい出会いもあったようでした。懇親会も終わりに近づき、再度、みんなで「川の流れのように」を歌いました。最後に太田保副会長から思いを込めた閉会の挨拶があり、楽しいひとときを終えました。

参加していただいた皆さまありがとうございました。会員の皆さま、今後とも府退教の取り組みにご協力よろしくお願いいたします。
(文責 谷口啓子 写真 森山庸浩)



三島ブロック



高校・支援学校



大阪市



泉州
ブロック



豊能
ブロック